白河高校同窓會報

発行所
郵便番号　961－0851
福島県白河市南登り町54
白河高校同窓会
電話 ㉔１１１６番
振替口座　郡山02100-4-2774
発行人
安田好伸
編集委員長
堀川哲雄
㈲古楓堂堀川印刷所

# バトンをつなぐ

校長　太田　孝

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本校教育にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、今年度、四月一日に着任しましたが、それ以来、本校の現役在校生には大変に強い感銘を受けてまいりました。始業式、入学式、対面式にはじまり、様々な機会に生徒に話をして、そこで感じたのは、白河高校の生徒たちは、学校に対し、また教職員に対し、真剣そのものに「目を向ける、全身を向ける、心を向ける」生徒たちだということです。また、普段の生活を見ていても、白河高校の生徒たちは、勉強でも、部活動でも、本気で取り組んでいます。このような生徒たちに対して、私に何ができるか、襟を正して臨まなければという思いがあります。

最近、あまり見かけない言葉となりましたが、「陶冶（とうや）」という言葉があります。日本大百科全書によれば、「人間のもって生まれた素質や能力を理想的な姿にまで形成することをいう。…陶冶は、知的・道徳的・美的・技術的諸能力を発展させることによって、よりよい人間を形成しようとすることである」と説明されています。同じような意味であっても「教育」は意図的・計画的な営みであるのに対し、「陶冶」は無意識的な周囲からの薫陶・感化を含むイメージがあります。

ここで思うのは、まさに白河高校の生徒達は、白河高校の持つ歴史と伝統から、確かな「陶冶」を受けており、その歴史と伝統は、現在に至るまで確かに白河高校生に受け継がれているということです。よく、三十年の区切りとして、世代という言葉が使われます。本校が現在あるのは、まさに親、子、孫と三つの世代にわたって学校が受け継がれ、かつ、その時代時代で変化する考えにあわせて、幾多の変遷を経つつも、学校を維持向上発展させてきたことによります。

本校のこれまでの九十有余年がそうであったように、今後も、様々な方々に期待され、かつ、その期待に応える学校であり続けることが必要です。このためには、県南の中核の学校として、地域とともに歩み、優れた人材を送り出してきたという伝統を引き継ぎつつも、一方では、新たな未来を切り拓いていく学校でありたいと願っています。

歴史と伝統はいつ作られるのかという問いがなされるなら、はるか以前に作られただけでなく、その時々に、そして現在も、未来も、永遠に作られ続けるものであるというのが答えとなります。それを実践してこられた先輩諸氏のバトンを引き継ぎ、そして、また、次の世代にバトンを渡す、伝統を引き継ぎつつ、新しい伝統を創る、そのような白高生を育てていく所存です。

今後とも、後輩をよろしくお願いいたします。

「Musica del Vento」

第91回白日会　内閣総理大臣賞

平澤篤

（作品解説は4ページ）

# 伝統の登龍健児

同窓会長　安田好伸（高18）

「登龍」は本校創立以来の全ての象徴です。白高に学ぶ若者を「入学してきたばかりは地に伏す若き臥龍も、三年間の歳月を経てたくましく力を蓄え、雲を起こし雨を呼んで天に昇る」ということにたとえています。

そこに込められた思いとは、自身の限界に挑戦する気概を持って大空に飛翔する心であり、学問への憧れと社会に貢献しようとする高貴な魂そのものだといえるでしょう。

本校は「文武両道」の精神のもとに、大正十一年の創立以来二万有余名の人材を国内外に輩出してきました。昭和から平成へと激動の時期を経て、多くの困難な状況を乗り越えて来ることができたのも、各期の同窓生の奮闘と努力によって為し得たものと思います。

特記すべきは、昭和三十年におきた山岳部の甲子遭難、昭和四十一年の水泳部二十一連勝、昭和四十七年には創立五十周年を記念して建設された同窓会館「登龍会館」など、さまざまな出来事がありました。

現在も継続されている創立記念マラソン大会や郡内一周ＨＲ対抗駅伝大会も、同窓生にとって青春の思い出でしょう。

学年共通の思い出として同窓生の話題になるのは、昼食時の応援歌練習であります。一年生の教室を応援団の先輩が巡回して、応援歌の指導を行うのです。そのためには三校時の休み時間に弁当を食べておかなければなりません。

「真萩ケ浦」「花や一時」「競技部の歌」「野球部の歌」など、今も歌えると自慢しあえるのも、当時の気迫あふれる指導のおかげと感謝いたします。

在校時の授業光景や部活動の思い出、今もつづいている同級生や部活動での先輩や後輩との交友など、同窓会での話題はつきることがありません。また名物先生の「あだな」や話し方の癖についても、先輩と後輩との共通の話題となります。

同窓会の基本は同級会であり、同じ学年の同期会でありましょう。あるいは地区ごとの支部の集まりもまた大事な情報交換の場であります。

西郷支部と塙支部の総会は毎年開催されます。また首都圏の白高出身者が集う東京（首都圏）登龍会は、これまで二年に一度の開催でしたが、今年からはその間の年にも開かれるようになりました。

私たち一人ひとり白高で学んだ登龍健児であります。人生の高みをめざして、うまずたゆまず日々に向上する白高出身者の「登龍」であります。

私たちの後には若い後輩の皆さんがつづき、さらに在校生の皆さんがつづきます。

皆さんと共に白高の伝統と栄光を引き継いでいきましょう。

# 平成28年度同窓会総会開催

去る五月二十一日、平成二十八年度白河高校同窓会総会がホテルサンルート白河で開催され、六十二名の参加がありました。金澤隆夫事務局長（高23）の司会進行のもと、中村彰副会長（高20）が開会を宣言し、校歌斉唱を行った後、この1年間のうちご逝去された会員の方々のご冥福を祈り、黙祷を行いました。続いて安田好伸同窓会長（高18）から挨拶がありました。次に太田孝校長から本校の昨年度の進路状況、部活動の実績についての報告があり、さらには、本校の今後の歩むべき道筋などが述べられ、渡邊武彦教頭をはじめ四月から白河高校に赴任された同窓会の先生方が紹介されました。

この後、東京登龍会会長の人見信男氏（高20）、塙支部長の石井久雄氏（高22）、桔梗の会の六角冨美子氏（高6）が紹介されました。

次に来賓を代表して父母と教師の会会長の藤田龍文氏（高39）と後援会会長の櫻井和朋氏（高12）から祝辞をいただきました。

議長には恒例により、還暦を迎えた高25回卒の方々の中から松川典夫氏が選出され、議事に入りました。まず庶務の鈴木雅文氏（高28）から平成27年度事業報告がなされ、会計の石塚次男氏（高26）から平成27年度決算報告が、加えて会計監査の立花栄治氏（高18）から監査報告がありました。次に鈴木庶務から平成28年度事業計画（案）が、さらに石塚会計から平成28年度予算（案）が提案され、承認されました。その他として、現副会長の佐藤幸彦氏（高29）が一身上のやむを得ない事由で副会長を退任し、代わりに庶務の鈴木雅文氏が副会長になることを今年は役員改選の年ではないが例外的に認めていただきたいと中村副会長から提案され承認されました。最後に東京登龍会事務局長松岡久幸氏（高22）が今年度東京登龍会大同窓会を開催する旨を報告されました。最後に金子芳尚副会長（高26）が閉会を宣言し、総会を終了いたしました。

**平成28年度役員**

会長　安田好伸（高18）　副会長　中村彰（高20）　同　金子芳尚（高26）　同　鈴木雅文（高28）　会計監査　立花栄治（高18）　同　有賀秀晴（高28）　同　満山喜美（高33）

**【講演会】**

総会に先立ち、元白河市立中央中学校校長箭内清和氏（高25）から『教員生活34年をふりかえって』という題で講演がありました。続いて仙台市宏人会木町病院、院長竹内和久氏（高25）から『腎臓を守り、命を守る』という題で講演がありました。お二人の道を究めるための精神的強さとご努力はもちろん、お二人のひととなりにも触れることができた素晴らしい講演会となりました。

（文責　高田良一）

# 平成27年度白河高等学校同窓会会計決算書

平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
収　入　の　部　　総額　　5,115,146 円
支　出　の　部　　総額　　3,162,921 円
次年度への繰越　　1,952,225 円

収入の部　　（単位　円）

| 項　目 | 当初予算額 | 決　算　額 | 増　減 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 繰　越　金 | 2,021,975 | 2,012,975 | 0 | |
| 入　会　金 | 1,005,600 | 1,002,000 | △　3,600 | 1,200円×835 名 |
| 賛　助　金 | 2,000,000 | 2,100,000 | 100,000 | |
| 雑　収　入 | 425 | 171 | △　254 | 預金利子 |
| 合　計 | 5,019,000 | 5,115,146 | 96,146 | |

支出の部　　（単位　円）

| 款<br>項　目 | 当初予算額 | 決　算　額 | 残　減 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 総　務　費 | 815,000 | 497,206 | 317,794 | |
| 事　務　費 | 25,000 | 10,080 | 14,920 | 卒業アルバム代 |
| 通　信　費 | 90,000 | 67,540 | 22,460 | 会報発送用切手代等 |
| 会　議　費 | 150,000 | 72,678 | 77,322 | 東京登龍会会議費、お茶代等 |
| 総　会　費 | 160,000 | 114,920 | 45,080 | 総会諸経費 |
| 旅　費 | 120,000 | 59,400 | 60,600 | 東京登龍会出席者旅費 |
| 慶　弔　費 | 120,000 | 112,000 | 8,000 | 香典・弔電・看板代 |
| 交　際　費 | 150,000 | 60,588 | 89,412 | 広告掲載費 |
| 教　育　助　成　費 | 360,000 | 359,661 | 339 | |
| 学校図書充実費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 体育文化助成費 | 0 | 0 | 0 | |
| 卒業記念品助成費 | 60,000 | 59,661 | 339 | 印鑑セット |
| 登龍会館運営助成費 | 0 | 0 | 0 | |
| 進　路　対　策　費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 事　業　活　動　費 | 2,335,000 | 2,156,054 | 178,946 | |
| 支　部　育　成　費 | 150,000 | 32,000 | 118,000 | 支部総会等祝い金 |
| 会　報　発　行　費 | 1,900,000 | 1,928,342 | △　28,342 | 会報印刷代、送料 |
| 事　業　費 | 30,000 | 0 | 30,000 | |
| 研　修　費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 登　龍　賞　基　金 | 250,000 | 195,712 | 54,288 | |
| 基　金 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 同　窓　会　基　金 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 予　備　費 | 1,359,000 | 0 | 1,359,000 | |
| 予　備　費 | 1,359,000 | 0 | 1,359,000 | |
| 合　計 | 5,019,000 | 3,162,921 | 1,856,079 | |

収入額 5,115,146 円　支出額 3,162,921 円　差引残高 1,952,225 円は、次年度へ繰り越し
なお、同窓会基金定期預金の総額は 5,656,524 円（常陽 121,090 円・東邦 1,262,786 円・白信 4,272,648 円）
平成 28 年 4 月 14 日監査を行い、関係書類を照合の結果、適正に執行されていることを認めたので報告します。

会計監査　立花栄治
〃　有賀秀晴
〃　満山喜美

平成 28 年 4 月 14 日
福島県立白河高等学校同窓会長　安　田　好　伸

# 平成28年度白河高等学校同窓会予算書

平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
収　入　の　部　　総額　　4,955,000円
支　出　の　部　　総額　　4,955,000円

収入の部　　（単位　円）

| 項　目 | 28 年度予算 | 27 年度予算 | 対　比　増　減 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 繰　越　金 | 1,952,225 | 2,012,975 | △　60,753 | |
| 入　会　金 | 1,002,000 | 1,005,600 | △　3,600 | 1,200 円 ×835 名 |
| 賛　助　金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | 個人会員 |
| 雑　収　入 | 775 | 425 | 350 | 預金利子 |
| 合　計 | 4,955,000 | 5,019,000 | △　64,000 | |

支出の部　　（単位　円）

| 款<br>項　目 | 28 年度予算 | 27 年度予算 | 対　比　増　減 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 総　務　費 | 755,000 | 815,000 | △　60,000 | |
| 事　務　費 | 25,000 | 25,000 | 0 | 事務用品、卒業アルバム代 |
| 通　信　費 | 90,000 | 90,000 | 0 | 切手・郵便料金等 |
| 会　議　費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 常任理事会 |
| 総　会　費 | 160,000 | 160,000 | 0 | 総会諸経費 |
| 旅　費 | 60,000 | 120,000 | △　60,000 | 諸会合出席者旅費（今年は東京登龍会なし） |
| 慶　弔　費 | 120,000 | 120,000 | 0 | 香典・弔電・看板代 |
| 交　際　費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 広告掲載費 |
| 教　育　助　成　費 | 360,000 | 360,000 | 0 | |
| 学校図書充実費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 体育文化助成費 | 0 | 0 | 0 | |
| 卒業記念品助成費 | 60,000 | 60,000 | 0 | 印鑑代補助 |
| 登龍会館運営助成費 | 0 | 0 | 0 | |
| 進　路　対　策　費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 事　業　活　動　費 | 2,330,000 | 2,335,000 | △　5,000 | |
| 支　部　育　成　費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 同窓会・支部総会祝い金 |
| 会　報　発　行　費 | 1,930,000 | 1,900,000 | 30,000 | 会報印刷代、送料 |
| 事　業　費 | 0 | 30,000 | △　30,000 | |
| 研　修　費 | 0 | 5,000 | △　5,000 | |
| 登　龍　賞　基　金 | 250,000 | 250,000 | 0 | 図書カード、楯購入・文字入れ |
| 基　金 | 1,150,000 | 150,000 | 1,000,000 | |
| 同　窓　会　基　金 | 1,150,000 | 150,000 | 1,000,000 | |
| 予　備　費 | 36,000 | 1,359,000 | △ 999,000 | |
| 予　備　費 | 36,000 | 1,359,000 | △ 999,000 | |
| 合　計 | 4,955,000 | 5,019,000 | △　64,000 | |

款、項目間の流用は、会長一任とする。

平成 28 年 5 月 21 日
福島県立白河高等学校同窓会長　安　田　好　伸

# 母校だより

## 人事異動

平成二十八年度の人事異動は次のとおりです。

三月末には、**髙橋正人**校長が退職されたのをはじめ、合わせて二十一名の方々が異動となりました。また、四月一日には、本宮高校より**太田孝**校長他二十一名の先生方をお迎えいたしました。

その中で同窓生の異動は、ご退職が**皆川佐保里**先生（高60・保健体育）、引き続き本校に勤務されます**鈴木敏博**先生（高24・英語）、**野木良一**先生（高25・理科）、**仁井田重人**先生（高53・音楽）の四名です。また、新たに転入された先生方は、須賀川桐陽高校より**高田良一**先生（高32・地歴）、勿来高校より**佐藤大輔**先生（高51・数学）、そして**芳賀文章**先生（高57・数学）の三名です。

現在高校教育界は大きな変革の時を迎えています。平成三十四年度から年次進行により実施される学習指導要領の改訂や、高大接続改革の一環として、従来の大学入試センター試験にかわる新テストの導入など、新たな対応が求められているところです。

白河高校におきましても、生徒、保護者、そして地域の期待に応えるべく、学校としての教育力を一層向上させていかなければなりません。同窓生の皆様には今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

教頭
**渡邊武彦**

90余年の伝統を誇る白河高校に着任し、身の引き締まる思いで日々仕事に取り組んでおります。

私の母校同窓会も、本校同様その活動が非常に盛んでありますが、伝統校における同窓会の存在は、我々教職員にとりましても、また在校生にとりましても、心の支え、精神的支柱です。これまでに本校を卒業された約二万三千名の卒業生の思いを受け止め、生徒たちの進路希望実現のため日々精進いたします。ご指導よろしくお願いいたします。

**高田良一**（高32）

二度目の白河高校です。白河高校のあるべき姿は国公立大学の数合わせでもなく、勿論、大学進学のみではありません。学校全体で生徒を育て、一人でも多くの生徒が『白高を選んで良かった』と振り替えられるようにきめ細かい指導をすることだと思います。間違った方向に行かないよう、ぶれないよう、軌道修正しながら頑張ります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

**佐藤大輔**（高51）

いわきの勿来高校より、四月に赴任いたしました佐藤大輔です。母校での勤務は五年振り二度目の勤務になります。以前は常勤講師としての勤務でしたが、夢叶い教諭としての再赴任となりました。赴任後、早速一学年の担任を勤めております。母校での担任は格別な思いで勤めております。後輩たちが夢を持ち、その夢を叶え「登龍健児」として社会に貢献できるよう育てていきたいと思います。

今後共よろしくお願いいたします。

**芳賀文章**（高57）

今年の四月より、母校である白河高校に赴任しました。白河高校の何事にも真剣に取り組む生徒の姿勢は、私の学生時代と変わらず懐かしく感じております。

教員として白河高校に携わり、文武両道という校風を実践できているのは環境を整え学生の力を伸ばそうとする恩師の並々ならぬ努力の賜物だと実感しました。

私も白河高校の発展に寄与すべく、日々努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 表紙の作品について

第91回白日会　内閣総理大臣賞

### 「Musica del Vento」

**平澤篤**（高32）

この作品は、第91回白日会において内閣総理大臣賞を受賞したものです。

私の作品は、油彩画の中では少数派の細密写実画として認識されています。ただ自分としては単なる写実ではなく、そこに絵画性、物語性、寓意性等を込めていきたいと考えています。宗教性を込めようとは思っていませんが、そういった事が宗教性を感じさせている要因かも知れません。

さてこの作品についてですが、舞台に選んだのはイタリア南部のCRACOという廃墟になった街にある教会の祭壇であります。約60年前に群発地震の為、中世からの町全てが崩壊し、廃墟となった街の中心にある崩れかけの教会の祭壇は、とても幻想的でした。私が取材したその日は風の強い日で、そこに足を踏み込むと風が壊れた窓をぬけ、ひゅーひゅーと鳴っていました。そのフルートの様な音を聞きながら取材をしているうちにこの構図、ポーズが浮かんできました。画中のフルート、その先に止まるフクロウは風鳴りのイメージです。題名の「Musica del Vento」は、イタリア語で「風の音（かぜのね）」という意味です。私の制作法としては、現実の物を映画の1場面の舞台としてイメージを盛込み構成してゆく事です。その為には綿密な取材が必要で、現場に行く前の事前取材、現地取材、後取材、意味調べ等、それら全てを頭に入れて作品を練ります。ドレスも絵のイメージに合わせ、アンティークの物を手に入れます。そのため大作には、約半年以上の時間がかかります。この作品も然りです。

広くアンテナを張り、その中から琴線に触れた物を拾い、その本質を探り、想像を広げ、深い作品を製作したいと考えています。

**【略歴】**
白日会展において内閣総理大臣賞、文部大臣賞をはじめ、各賞を受賞
日本橋三越本店、阪急うめだ本店、銀座等の画廊において個展多数
白河南湖公園内にて大作による個展
現在、白日会会員

## 賛助金納入のお願い

会報第一三八号を高48回卒までの皆様にお届けします。皆様よりお寄せ頂く賛助金は、三頁の予算・決算書にご覧頂きますように、本会の活動と母校への援助のために使われます。平成二十七年度は二、一〇〇、〇〇〇円をご協力頂きました。感謝申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

**賛助金は一口一、〇〇〇円できるだけ二口以上でご協力ください。**

**郵便振替番号**
**〇二一〇〇－四－二七七四**
**加入者名**
**福島県立白河高等学校同窓会**

# 進路報告

## 東京大学二名、東北大学二名、東京工業大学一名、福島県立医科大学五名（医学部二名、看護学部三名）を含み、国公立大学八十九名合格

進路指導主事　渡部正一

今春の卒業生の進路状況は下記の通りです。二七八名の卒業生のうち四年制大学進学者が二二九名、短期大学が一名、専門学校が九名、就職者はいませんでした。

四年制大学合格者のうち、何と言っても特筆すべきは東京大学二名です。他にも国公立大学は、東北大二名、東京工業大一名、県立医大医学部二名、岩手大農学部共同獣医学科一名など難関に多数合格し、合計八十九名にのぼりました。私立大学も、早稲田大六名、慶應義塾大四名、明治大八名、中央大六名、立教大七名、法政大五名、青山学院大五名など延べ三八〇名にのぼり、卒業生の八十二・四パーセントが四年制大学への現役進学を実現しました。また、部活動をしていた生徒の健闘も光り、四十七名が国公立大学に合格しました。部活動加入者の四年制大学への進学率は卒業生全体より二・二ポイント高い八十四・六パーセントとなりました。

先輩方の華々しい成果に刺激を受けた人も多いと思いますが、受験に限らず、日頃の地道な努力を継続することが求められます。粘り強く、周囲と協調しながら自分の目標にこだわり追求する姿勢は、社会に出ても大切な資質だと思います。今年の三年生も、先輩方に追いつき追い越せの気概をもって頑張ってもらいたいと思います。

## 平成27年度卒業生　大学合格状況（現役生のみ）

### 《国公立大学》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北見工大 | | | | 1 | |
| 室蘭工大 | 1 | | 1 | | |
| 弘前大 | | | | 1 | |
| 岩手大 | 1 | 1 | 2 | 2 | |
| 東北大 | 1 | 1 | 2 | 5 | 1 |
| 宮城教育大 | | | | 1 | 1 |
| 山形大 | 3 | 2 | 5 | | 6 |
| 福島大 | 10 | 9 | 19 | 11 | 16 |
| 茨城大 | 2 | 1 | 3 | 5 | |
| 筑波大 | | | | | 2 |
| 宇都宮大 | 2 | | 2 | 10 | 9 |
| 群馬大 | | 1 | 1 | | 2 |
| 埼玉大 | 1 | 2 | 3 | 5 | 4 |
| 千葉大 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 |
| 電気通信大 | 1 | | 1 | | |
| 東京大 | 1 | 1 | 2 | | |
| 東京医歯大 | | | | | 1 |
| 東京海洋大 | | | | | 1 |
| 東京学芸大 | 1 | 1 | 2 | | 2 |
| 東京工業大 | 1 | | 1 | | |
| 東京農工大 | 2 | | 2 | 1 | |
| 横浜国立大 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 新潟大 | 6 | 1 | 7 | 8 | 15 |
| 富山大 | 2 | | 2 | | |
| 信州大 | 1 | | 1 | | |
| 静岡大 | | 1 | 1 | | |
| 京都大 | | | | | 1 |
| 奈良女子大 | | | | 1 | |
| 鹿児島大 | | | | 1 | |
| 釧路公立大 | | | | 1 | |
| 岩手県立大 | 1 | | 1 | 1 | |
| 宮城大 | | | | | 2 |
| 秋田県立大 | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 県立米沢栄養大 | | | | | 1 |
| 山形保健医療大 | | | | 1 | 1 |
| 会津大 | 4 | | 4 | 1 | 7 |
| 福島県立医大 | | 5 | 5 | 10 | 5 |
| 茨城県立医療大 | | | | | 1 |
| 前橋工科大 | 2 | | 2 | 1 | 2 |
| 群馬県立女子大 | | 2 | 2 | 2 | 1 |
| 高崎経大 | 3 | 2 | 5 | 6 | 1 |
| 埼玉県立大 | | 1 | 1 | | 1 |
| 首都大東京 | 1 | | 1 | 1 | |
| 神奈川保福大 | | 2 | 2 | 1 | |
| 横浜市立大 | | | | 1 | 1 |
| 新潟県立大 | | 1 | 1 | | 2 |
| 都留文科大 | | 1 | 1 | | |
| 静岡文化芸大 | 1 | | 1 | | |
| 愛知県立大 | | 1 | 1 | | |
| 志賀県立大 | | | | | 1 |
| 小計 | 50 | 39 | 89 | 81 | 92 |
| 防衛医科大学校 | | | | 1 | |
| 水産大学校 | | | | 2 | |
| 小計 | | | | 3 | |
| 国公立大学合計 | 50 | 39 | 89 | 84 | 92 |

### 《私立大学》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北星学園大 | | 1 | 1 | | |
| 北海道医療大 | | 2 | 2 | 1 | |
| 札幌大 | | | | | 2 |
| 藤女子大 | | | | | 1 |
| 北海道文教大 | | | | 1 | 1 |
| 石巻専修大 | | | | | 1 |
| 仙台大 | | | | | 4 |
| 東北学院大 | 9 | 4 | 13 | 2 | 4 |
| 東北工大 | | | | | 1 |
| 東北福祉大 | 3 | 1 | 4 | 8 | 6 |
| 東北医薬大 | | 2 | 2 | 1 | |
| 仙台白百合女大 | | 1 | 1 | | |
| 東北文化学園大 | | 1 | 1 | 2 | |
| 宮城学院女子大 | | | | | 2 |
| 尚絅学院大 | | | | | 1 |
| 東北芸術工大 | | | | 1 | 4 |
| いわき明星大 | 2 | 1 | 3 | 4 | 3 |
| 奥羽大 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 |
| 福島学院大 | 1 | | 1 | | |
| 郡山女子大 | | | | 3 | 3 |
| 茨城キリスト大 | | 3 | 3 | 0 | 1 |

### 《私立大学》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 常磐大 | | | | | 2 |
| つくば国際大 | 4 | | 4 | 1 | 6 |
| 流通経済大 | | | | 2 | 1 |
| 足利工大 | | | | 1 | |
| 国際医療福祉大 | 8 | 12 | 20 | 16 | 15 |
| 作新学院大 | | | | 2 | 2 |
| 獨協医大 | | | | 1 | 1 |
| 自治医大 | | | | 1 | 1 |
| 白鴎大 | 5 | 4 | 9 | 24 | 15 |
| 関東学園大 | | | | 1 | |
| 共愛前橋国際大 | | 1 | 1 | | |
| 東京福祉大 | 1 | | 1 | | 1 |
| 高崎健康福祉大 | | 1 | 1 | 6 | 3 |
| 群馬医療福祉大 | | 2 | 2 | | 1 |
| 埼玉医大 | | 1 | 1 | | |
| 埼玉工大 | 1 | | 1 | 3 | 2 |
| 城西大 | 3 | | 3 | 2 | 2 |
| 駿河台大 | | 1 | 1 | 3 | 1 |
| 東京国際大 | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| 獨協大 | | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 日本工大 | 1 | | 1 | | |
| 文教大 | 5 | 11 | 16 | 14 | 13 |
| 目白大 | | | | 1 | 1 |
| 平成国際大 | | | | 2 | |
| 十文字学園女大 | | | | | 1 |
| 日本薬大 | | | | | 1 |
| 日本医療科学大 | | | | 1 | |
| 日本保健医療大 | | 1 | 1 | | 1 |
| 東都医療大 | | | | 1 | |
| 江戸川大 | | | | 3 | 1 |
| 明海大 | | | | 2 | |
| 川村学園女子大 | | | | 1 | |
| 神田外語大 | 1 | 3 | 4 | 1 | 1 |
| 淑徳大 | 1 | 1 | 2 | 5 | 1 |
| 植草学園大 | | | | | 1 |
| 城西国際大 | | 1 | 1 | 6 | |
| 聖徳大 | | 2 | 2 | | |
| 千葉工大 | 4 | | 4 | 7 | 10 |
| 帝京平成大 | 2 | | 2 | 2 | |
| 中央学院大 | | | | | 1 |
| 東洋学園大 | | 1 | 1 | | |
| 秀明大 | | 1 | 1 | | 1 |
| 千葉科学大 | | | | | 1 |
| 東京成徳大 | | | | 1 | |
| 麗澤大 | | 2 | 2 | | 2 |
| 青山学院大 | 2 | 3 | 5 | 2 | 5 |
| 亜細亜大 | | 1 | 1 | | |
| 桜美林大 | | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 大妻女子大 | | 4 | 4 | 8 | 2 |
| 学習院大 | 2 | | 2 | | |
| 北里大 | | | | 4 | |
| 共立女子大 | | 3 | 3 | | |
| 杏林大 | 1 | 3 | 4 | 2 | 2 |
| 慶応大 | 4 | | 4 | 1 | 2 |
| 工学院大 | 3 | | 3 | 2 | 19 |
| 国学院大 | 1 | 1 | 2 | 4 | 3 |
| 国士舘大 | 1 | 3 | 4 | 10 | 1 |
| 駒澤大 | 7 | 5 | 12 | 9 | 4 |
| 駒澤女子大 | | 1 | 1 | | |
| 実践女子大 | | 2 | 2 | | 1 |
| 芝浦工大 | 3 | | 3 | 7 | 29 |
| 順天堂大 | | | | 1 | 1 |
| 上智大 | | 1 | 1 | | |
| 昭和大 | | | | | 1 |
| 昭和女子大 | | 3 | 3 | | 2 |
| 昭和薬科大 | | | | 1 | |
| 白百合女子大 | | 2 | 2 | 1 | |
| 成蹊大 | 5 | | 5 | 2 | 8 |
| 成城大 | | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 清泉女子大 | | 1 | 1 | | |
| 専修大 | 4 | 4 | 8 | 4 | 5 |
| 大正大 | | | | | 1 |
| 大東文化大 | 1 | 2 | 3 | 14 | 2 |
| 拓殖大 | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 玉川大 | | 8 | 8 | 5 | 5 |
| 中央大 | 4 | 2 | 6 | 8 | 7 |
| 津田塾大 | | | | | 1 |
| 帝京大 | 2 | | 2 | 14 | 6 |
| 東海大 | 4 | 4 | 8 | 22 | 9 |
| 東京医科大 | | | | 2 | |

### 《私立大学》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東京医療保健大 | | | | 1 | |
| 東京音大 | | 1 | 1 | | |
| 東京家政大 | | 2 | 2 | 1 | |
| 東京経大 | 3 | 1 | 4 | | 6 |
| 東京工科大 | 3 | | 3 | 6 | 4 |
| 東京女子大 | | 1 | 1 | 3 | 1 |
| 東京女子医大 | | | | 1 | |
| 東京電機大 | | | | 2 | 4 |
| 東京農大 | 1 | 1 | 2 | 4 | 9 |
| 東京薬大 | 1 | | 1 | 1 | |
| 東京理大 | 7 | 1 | 8 | 6 | 1 |
| 東邦大 | | | | 1 | 1 |
| 東洋大 | 6 | 6 | 12 | 16 | 4 |
| 二松学舎大 | | | | 2 | |
| 日本大 | 36 | 7 | 43 | 29 | 36 |
| 日本社会事業大 | | | | 1 | |
| 日本歯大 | | | | | 1 |
| 日本獣医生命大 | | | | 1 | |
| 日本女子大 | | | | 2 | 1 |
| 日本体育大 | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 文化学園大 | | 1 | 1 | | |
| 法政大 | 4 | 1 | 5 | 6 | 8 |
| 武蔵大 | 1 | 1 | 2 | | 2 |
| 武蔵野音大 | | | | | 1 |
| 東京都市大 | 1 | 1 | 2 | 1 | 7 |
| 武蔵野大 | 1 | 7 | 8 | 4 | 8 |
| 明治大 | 4 | 4 | 8 | 7 | 6 |
| 明治学院大 | 5 | 2 | 7 | 3 | 5 |
| 明星大 | 1 | | 1 | | 4 |
| 立教大 | 2 | 5 | 7 | 1 | 2 |
| 立正大 | | | | 3 | 2 |
| 早稲田大 | 1 | 5 | 6 | 3 | 3 |
| 神奈川大 | 6 | 7 | 13 | 17 | 6 |
| 神奈川工科大 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 嘉悦大 | | | | | 1 |
| 鎌倉女子大 | | 2 | 2 | 1 | 4 |
| 関東学院大 | 4 | 2 | 6 | 3 | 5 |
| 鶴見大 | | | | 1 | |
| 相模女子大 | | | | 1 | |
| 産業能率大 | | | | 1 | |
| 湘南工科大 | | | | 1 | |
| 桐蔭横浜大 | | | | 2 | |
| 東京工芸大 | | | | 4 | |
| 横浜薬大 | | 2 | 2 | | |
| 新潟医療福祉大 | 2 | | 2 | | 1 |
| 新潟薬大 | | | | | 1 |
| 金沢工大 | | | | 1 | 3 |
| 山梨学院大 | | | | 1 | |
| 長野大 | | 1 | 1 | | |
| 朝日大 | | | | 1 | |
| 愛知淑徳大 | | 2 | 2 | | |
| 愛知工科大 | | | | 1 | |
| 名古屋外大 | | 1 | 1 | 1 | |
| 名古屋学院大 | | | | | 1 |
| 南山大 | | | | | 4 |
| 京都女子大 | | | | | 1 |
| 同志社大 | | | | 1 | 1 |
| 同志社女子大 | | | | | 1 |
| 立命館大 | 3 | | 3 | 3 | 3 |
| 近畿大 | | | | 1 | 1 |
| 関西学院大 | | | | | 1 |
| 神戸松蔭女子大 | | 1 | 1 | | |
| 立命館アジア大 | | | | | 2 |
| 九州産大 | | | | | 2 |
| 私立大学合計 | 191 | 189 | 380 | 413 | 404 |

### 《短期大学》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 山形県米沢女短 | | | | 2 | |
| 会津大短大部 | | | | | 2 |
| 郡山女大短大部 | | | | | 1 |
| 桜の聖母短 | | | | 1 | 1 |
| 宇都宮短 | | | | 1 | 1 |
| 国学院大栃木短 | | | | 1 | |
| 埼玉女短 | | | | | 1 |
| 青山学院女短 | | | | | 1 |
| 日本歯大東京短 | | 1 | 1 | | |
| 山野美容芸術短 | | | | | 1 |

### 《短期大学》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 川崎市立看護短 | | | | 1 | |
| 鶴見大短大部 | | 1 | 1 | | |
| 短期大学合計 | | 2 | 2 | 6 | 8 |

### 《専門学校》

| 学校名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東北保健医療専門 | | | | 1 | |
| 山形厚生看護 | | | | 1 | |
| 福島県立総合衛 | | | | 1 | |
| 福島病院付属看護学校 | | | | | 1 |
| 東北歯科専門 | | 1 | 1 | | |
| 東北動物看護学院 | | 1 | 1 | | |
| 太田看護専門 | | 1 | 1 | 1 | |
| ポラリス保健看護 | | | | 3 | |
| ケイセンビジネス公務員専門 | | | | | 1 |
| 国際メディカルテクノロジー | | | | 1 | |
| 白河厚生病院附属高等看護 | | 2 | 2 | | |
| 那須看護専門 | | 1 | 1 | | |
| 栃木医療附看護 | | | | 1 | 1 |
| 宇都宮ビジネス電子専門 | | | | | 1 |
| 日産栃木自動車大学校 | | | | 1 | |
| 栃木県立衛生福祉大学校 | | | | 1 | |
| 埼玉医大付属看護専門 | | | | | 1 |
| さいたま赤十字 | | | | | 1 |
| 埼玉医療福祉専門 | | | | 1 | |
| 神田外語学院 | | 1 | 1 | | |
| 昭和大医附看専 | | 2 | 2 | 1 | |
| 獨協医大附看専 | | 2 | 2 | 1 | |
| 東京ビューティーアート専門 | 1 | | 1 | | |
| 中央工学校 | 1 | | 1 | | |
| 山野美容専門学校 | 1 | | 1 | | |
| 国際医療福祉専門学校 | 1 | | 1 | | |
| 東放学園専門 | | | | 1 | |
| 日本工学院専門 | | | | 1 | |
| 東京メディカル・スポーツ専門 | | | | 1 | |
| IFC栄養専門学校 | | | | | 1 |
| 東京コミュニケーションアート専門 | | | | | 1 |
| バンタンデザイン研究所 | | | | | 1 |
| 東京ベルエポック美容専門学校 | | | | | 1 |
| 資生堂美容技術専門学校 | | | | | 2 |
| 国立音楽院 | | | | | 1 |
| 東京こども専門 | | | | | 1 |
| 専門学校合計 | 4 | 11 | 15 | 17 | 14 |

### 《留学》

| 留学先 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 大韓民国 | | | | 1 | |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |

### 《就職(含む公務員)》

| 企業名 | H27 男 | H27 女 | H27 計 | H26 | H25 |
|---|---|---|---|---|---|
| 福島県警 | | | | 1 | |
| 白河広域消防本部 | | | | 1 | 1 |
| 三菱製紙エンジニアリング | | | | 1 | |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 |

### 平成27年度卒業生 進路先状況一覧

| 種別 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 国公立大学（含む準大学） | 43 | 32 | 75 |
| 私立大学 | 83 | 71 | 154 |
| 四年生大学合計 | 126 | 103 | 229 |
| 短期大学 | | 1 | 1 |
| 留学 | | | |
| 専門学校 | 3 | 6 | 9 |
| 就職（含む公務員） | | | |
| その他 | | 1 | 1 |
| 小計 | 3 | 8 | 11 |
| 次年度進学予定者 | 25 | 13 | 38 |
| 合計 | 154 | 124 | 278 |

# 進学報告

## 岩手大学へ入学して

一組　吉田ちひろ

私が大学に入学してからもうずいぶん経ちました。最初はこんなところで6年間生活していけるのかという不安でいっぱいでしたが、今はなんとか軌道に乗ってきました。

大学は高校と比べると自由なところです。1年生のうちは一般教科科目が時間割のほとんどを占めるので正直勉強することは高校より少ないです。2年生以降は専門科目がほとんどを占めるので徐々に勉強が大変になっていくと聞き、今は大学受験中にやりたかったことや自分の趣味に打ち込んでいます。一人暮らしなのであまり時間を気にせずに好きなことに時間を割けることがうれしいです。夏休みが2ヶ月ほどあるので今のうちにやりたいことを思う存分楽しみたいです。もちろん単位を落とさない程度に勉強にも打ち込んでいます。

私の所属する共同獣医学科は縦横のつながりが他の学科学部よりも強く、先輩から様々な情報が入ってきます。獣医師の活躍する場は、一般的に知られているような産業動物や小動物いわゆる動物のお医者さんだけでなく、と畜場や保健所など多岐に及びます。私が獣医学科を目指したのは産業動物臨床の獣医師になりたかったからですが、これから専門を学ぶなかでゆっくり考えていきたいと思っています。

大学進学に向けて頑張っている皆さんは、自分の納得できるまで自分の志望を諦めないで頑張ってください。今の頑張りは必ず大学でも生きてきます。応援しています。

## 福島大学へ入学して

四組　斉藤みなみ

私が福島大学に入学して、半年がたとうとしています。この半年は、新しい出会いがあり、様々なことを学ぶことが出来ました。私が大学に入って一番始めに思った事は、こんなにたくさん自分の時間を得ることが出来るのかと驚いたことです。また、今まで親にやってもらっていたことを自分でやることが増え、改めて親に感謝の気持ちを持つことが出来ました。

私は、人間発達文化学類スポーツ・芸術創造専攻に所属しています。この学類の授業では、始めから専門的な事ばかりやるのではなく、普通に体育のような授業や英語などの授業もあります。しかし、器械運動や水泳、教養演習などの専門的なことを学ぶ授業もあります。中でも教養演習は、教員になる為の専門的なことを学ぶことができ、授業では、コミュニケーションを養うため、ディスカッションをよく行います。そのため、私は授業を受けるたび、わくわくしてもっといろんなことを学びたいと思うことが出来ました。

また、私は剣道部にも所属しており、まだ慣れないことだらけですが、同じ高校だった先輩だけでなく、新しく出来た先輩や同級生たちと仲良く活動しています。そして、剣道部（女子）の目標の団体で東北大会優勝、個人で全国大会に出場する事を目指して、日々の練習に励みたいと思います。

私は将来、保健体育の教員になりたいと考えているので、そこに向けてたくさんのことを福島大学で学び、活かしていきたいと思います。

## 会津大学コンピュータ理工学科へ進学して

六組　菊地浩太朗

大学に進学し早、半年が経とうとしています。この半年間は、全国各地からきた人たちとの出会いや、サークル、バイト、レポートとあっという間に立ってしまいました。生活習慣めちゃくちゃですがとても楽しいです。

会津大学の授業は、コンピュータ系の授業がメインです。今までやったことのないことだらけで、正直大変です。また、課外プロジェクトというものがあり、自分のしてみたいこと勉強ができ、関心をもちながら勉強を行えています。

自分は軽音、CUOという音楽系のサークルに入りました。ふたつともバンドを組み、月に1、2回イベントを行っています。ライブハウスでやっているので、雰囲気もあってとても楽しいです。平日午前から空きコマに部室に行き、練習をしたり、カラオケにいったり、勉強したり高校ではできない生活もできます。テスト前だと、ホラー映画をみんなで見たり、勉強会もしたりします。また、サークルに入ることで様々な人と出会うことができました。同じバンドが好きな人、同じ声優が好きな人と趣味が合う友達や他大学の友達がたくさんできとても充実しています。

大学では難しい授業も多いですが自分の将来の夢に近づけるような勉強ができます。そしてたくさん遊べます。単位さえ落とさなければ。受験を控えたみなさんも志望校に入れるように頑張ってください。

## 新潟大学理学部へ進学して

七組　藤田健斗

私が大学に入学してから現在までの約半年間で分かったことや思ったことを簡単に紹介したいと思います。

私は理学部物理学科に所属していて、さらに教職のための講義も受けています。正直かなり大変です。理学部はほかの学部より比較的テストの数や必修科目が多く、実験のレポートにも苦戦してる日々です。ですが理学部には教職以外を目指す人や、自分と異なる考え方を持つ人が大勢いて、私にとって理学部はそのような人達とコミュニケーションを取ることができ、さらに専門分野について深く学べる素晴らしい環境だと思っているので毎日の講義がとても楽しみです。

また私は、硬式テニス、バレーボランティアの3つのサークルに入っています。サークルの大会などを通して他の大学の人と交流したり、サークルの仲間と草津温泉にも行ったり、またボランティアとしては日本海の海岸清掃を行ったりするなどとても充実しています。大学4年間は「人生の夏休み」などと言われますが、全くその通りだと思います。自分のやりたいこと、興味のあることを見つけて、それを実現させるだけの時間が与えられているので、より多くの経験をして人から学んでいきたいと思います。

私は大学に入って興味の幅が凄く広がりました。皆さんには高校生のうちにたくさん勉強をして将来の選択肢を増やして欲しいと思います。応援してます。

# 平成28年度部活動大会記録（第1学期）

| 部活動名 | 年月日 | 大会名 | 成績 | 受賞者 |
|---|---|---|---|---|
| 陸上競技部 | 28・5・13 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 男子総合 第5位 | 白河高等学校 |
| | | | 男子フィールド 第2位 | 白河高等学校 |
| | | | 男子4×100mR 第2位 | 白河高等学校 |
| | | | 男子棒高跳 第1位 | 深谷紘大 |
| | | | 男子やり投げ 第1位 | 水戸洋貴 |
| | | | 男子砲丸投 第3位 | 深津圭佑 |
| | | | 男子ハンマー投 第2位 | 根本尚紀 |
| | | | 男子ハンマー投 第3位 | 松本亮太 |
| | | | 男子八種競技 第1位 | 金澤有磨 |
| | | | 女子走幅跳 第3位 | 内山栞里 |
| | | | 女子ハンマー投 第1位 | 鈴木莉奈 |
| | 28・5・28 | 第62回福島県高等学校体育大会 | 男子八種競技 第2位 | 金澤有磨 |
| | | | 男子ハンマー投 第5位 | 松本亮太 |
| | | | 男子砲丸投 第5位 | 深津圭佑 |
| | | | 男子棒高跳 第6位 | 深谷紘大 |
| | | | 女子ハンマー投 第8位 | 鈴木莉奈 |
| | | | 女子走高跳 第7位 | 藤田菜々 |
| | 28・6・25 | 県南陸上競技選手権大会 | 男子110mH 第3位 | 宮尾慶信 |
| | | | 男子400mH 第2位 | 金澤有磨 |
| | | | 男子走幅跳 第3位 | 前田祐太朗 |
| | | | 少年B男子走幅跳 第2位 | 片山雄太 |
| | | | 男子棒高跳 第1位 | 深谷紘大 |
| | | | 男子4×100mR 第3位 | 白河高等学校 |
| | | | 女子100mH 第3位 | 近藤優花 |
| | | | 女子棒高跳 第1位 | 橋本真実 |
| | | | 女子ハンマー投 第1位 | 鈴木莉奈 |
| 卓球部 | 28・4・30 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 男子学校対抗 第2位 | 白河高等学校 |
| | | | 男子シングルス 第2位 | 松江友貴 |
| | | | 男子ダブルス 第1位 | 小山泰成<br>藤田裕太郎 |
| | | | 男子ダブルス 第2位 | 松江友貴<br>鈴木柊平 |
| | | | 女子学校対抗 第3位 | 白河高等学校 |
| | | | 女子シングルス 第3位 | 佐藤　怜 |
| | | | 女子ダブルス 第3位 | 佐藤　怜<br>小野智保 |
| | 28・6・11 | 第69回福島県総合体育大会県南地区予選 | 少年女子団体 第3位 | 白河高等学校 |

| 部活動名 | 年月日 | 大会名 | 成績 | 受賞者 |
|---|---|---|---|---|
| バレーボール部 | 28・5・9 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 男子　第2位 | 白河高等学校 |
| | 28・7・9 | 第69回福島県総合体育大会 | 男子　第1位 | 白河高等学校 |
| ソフトテニス部 | 28・4・3 | 平成28年度福島県高等学校県中・県南ソフトテニス団体対抗戦大会 | 男子団体戦 第1位 | 白河高等学校 |
| サッカー部 | 28・5・16 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 第5位 | 白河高等学校 |
| 山岳部 | 28・6・19 | 第69回福島県総合体育大会 | 少年男子リード競技 第3位 | 中村芳寿 |
| | | | 少年男子リード競技 第4位 | 西森和樹 |
| | | | 少年男子ボルダリング競技 第3位 | 西森和樹 |
| | | | 少年男子ボルダリング競技 第3位 | 海老原晃 |
| | | | 少年男子ボルダリング競技 第3位 | 中村芳寿 |
| 弓道部 | 28・4・16 | 第68回福島県春季弓道大会 | 個人男子の部 第3位 | 佐藤　樹 |
| | 28・4・23 | 第19回福島県弓道遠的選手権大会 | 個人男子の部 第3位 | 鈴木陽太郎 |
| | 28・5・15 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 男子団体 第2位 | 白河高等学校 |
| | | | 男子個人 第5位 | 北沢篤志 |
| | 28・6・6 | 第62回福島県高等学校体育大会 | 男子団体 第1位 | 白河高等学校 |
| | 28・6・12 | 第69回福島県総合体育大会県南地区予選 | 男子個人 第6位 | 鈴木陽太郎 |
| | 28・6・26 | 平成28年度東北高等学校選手権大会 | 男子の部 団体競技　第1位 | 白河高等学校 |
| | 28・7・3 | 第69回福島県総合体育大会 | 少年男子　近的個人　第2位 | 鈴木陽太郎 |
| 剣道部 | 28・5・15 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 男子個人 第1位 | 三戸壮基 |
| | | | 女子団体 第1位 | 白河高等学校 |
| | | | 女子個人 第1位 | 小坂沙貴 |
| | 28・6・6 | 第62回福島県高等学校体育大会 | 女子団体 第1位 | 白河高等学校 |
| | | | 女子個人 第3位 | 鈴木華奈 |
| | 28・6・12 | 福島県総合体育大会県南地区大会 | 女子個人 第1位 | 小坂沙貴 |
| | 28・6・19 | 平成28年度東北高等学校選手権大会 | 女子団体戦 第3位 | 白河高等学校 |
| バドミントン部 | 28・5・14 | 第62回福島県高等学校体育大会県南地区大会 | 男子学校対抗 第3位 | 白河高等学校 |
| | | | 男子ダブルス 第3位 | 藤田捷太郎<br>片桐直輝 |
| | | | 男子シングルス 第3位 | 片桐直輝 |
| 美術部 | 28・7・3 | 第62回福島県水彩展 | 郡山市教育委員会教育長賞 | 鈴木深響 |
| | | | 青少年奨励 福島民報社賞 | 若月稔彦 |
| 書道部 | 28・7・3 | 第17回高校生国際美術展 | 書の部 奨励賞 | 佐藤真衣 |
| 写真部 | 28・7・10 | 第5回「民家の甲子園」福島大会町並みフォトコンテスト | 準優秀賞（郡山市教育委員会教育長賞） | 白河高等学校 |

# 部活動報告

## 3年連続決勝トーナメント進出

弓道部　顧問　根本文彦

第61回全国高等学校総合体育大会弓道競技（8月3～6日鳥取県米子市で開催）に男子団体が3年連続で出場しました。

今年のチームは全員が2年生で、経験も実力も大きく不足しましたが、諦めない試合が出来たので、福島県大会だけでなく、東北大会でも優勝することが出来ました。

インターハイに向けて、課外後の練習に加え、アリーナ内での試合に備えて、小体育館の部活の終了後に50～60枚の畳を運び小体育館内に室内弓道場を作って練習し片づける毎日を、汗だくで繰り返すなど、先輩達以上の準備をしてきました。

米子市の鳥取県立武道館特設弓道場は広く明るく、観客席も選手の控え室も余裕があり、暑い練習会場での練習もへこたれることなく出来ました。

予選は12中で過去3年で最低でしたがギリギリで通過し、決勝トーナメント1回戦は神奈川県の山北高校（5位入賞）と対戦しました。15射目までは12－12で互角でしたが最後に引き離され13－14の一本差で1回戦を勝ち抜くことが出来ませんでした。でも2年生チームは良く準備し良く戦ったと思います。

今年も鳥取県まで多くのご家族と卒業生が駆けつけてくれたり、1・2年の部員が14時間もバスに乗ってやってきて必死に応援してくれました。選手達は1人で頑張っているのではなく、本当に多くの人たちに応援されながら試合に出ていることを実感したと思います。

多方面からの応援をいただきありがとうございました。

## 感謝の想いを胸に戦ったインターハイ

剣道部　顧問　佐藤裕展

8月2日より5日まで岡山県岡山市のジップアリーナで開催されたインターハイ剣道競技女子団体に参加してきました。剣道部としては7年連続のインターハイですが、今シーズンは新入生入学まで部員が4人しかいなく大変苦しい日々が続いていました。しかしながら4人でも選手達があきらめずに頑張り続けられた背景には家族の支えや人数不足にも係わらず胸を貸してくれた多くの県外強豪チーム、そして助っ人として全国選抜予選と東北大会を一緒に戦ってくれた弓道部の柴田理生さん（2年）など、多くの人達の支えがありました。苦しい1年を過ごして来たので、岡山では感謝の思いを胸に福島代表として精一杯戦ってきました。結果は甲府商業（山梨）明徳義塾（高知）との予選を突破し、決勝トーナメント初戦では中京（岐阜）に代表戦で勝利し、準々決勝では地元岡山の西大寺に敗れはしたもののベスト8で5位入賞という結果でした。また2年の鈴木華奈が女子10名が選ばれる優秀選手賞をいただきました。選手たちはインターハイ出場を勝ち取った後の方が、肉体的にも精神的にも苦しい練習の日々が続いたと思います。しかし、多くの方々に支えていただいて手に入れた出場権だということと福島県代表としての誇りがギリギリのところで選手たちを支え、このような素晴らしい結果につながったのだと思います。これからも信念を持って、日本一に挑戦していきます。

## 広島総文に出場して

書道部　三年　山口熙彩

全国から集まった選りすぐりの作品が並ぶ広島県産業会館で飾られている自分の作品に再会したとき、私はようやく夢の舞台に来たことを実感しました。会場にある作品の一つ一つが存在感を放っていて、その場にいるだけで圧倒されてしまいそうでした。

交流会では他県の生徒と班になり、メンバーそれぞれが考えて来た「平和」をテーマとした言葉を大きな和紙に寄せ書きしました。作業が進むにつれ、自然と会話や笑顔が増えていき、交流を深めることができました。

私をここまで指導し、導いてくださった先生方には本当に感謝しています。今後はこの貴重な経験を生かして、自分をより高めていきたいと思います。

## まんが甲子園本選に出場して

美術部　二年　鈴木冴佳

8月6日、7日に高知県で行われた第25回全国高等学校漫画選手権大会（通称まんが甲子園）本選に、美術部部員の中から結成された5名のチームで出場しました。

去年の予選敗退から得た経験や過去の大会作品の研究から得たものを生かしながら話し合いを重ねて臨んだ本選では、本校としては初出場ながらも第一次競技を突破し、決勝戦に勝ち進むことができました。

競技内容は、5時間半でテーマ（第一次競技は「♪」、決勝戦は「新元素発見！」）に沿ったB2サイズの作品を一つ完成させるというもので、この大きさを制限時間内に描くのはとても大変でした。準備期間からずっと、5時間半という限られた時間で納得できる作品を仕上げられるか不安に思っていましたが、本番では全員が協力し合い全力を注ぎ、きちんと時間内に完成させることができました。

決勝戦では、メンバー一人一人が全力を尽くしましたが、残念ながら入賞することはできず、涙を流しました。悔しい思いはしましたが、今回の経験はメンバー全員にとって良い経験・刺激になりました。応援してくださった多くの方々に感謝しています。

本当にありがとうございました。

今後は、この貴重な経験を作品制作に生かしたいと思います。そして、もしできるならば来年もまんが甲子園に挑戦し、リベンジをしたいです。

寄稿

# 校歌「西秀麗の那須の峰」の一考察

安田　豊（高3）

校歌の作詞、作曲にまつわる話題を機会があるたびに提供しておりましたが、今回、寄稿したらとの誘いがありました。実は、校歌については、当時、成蹊大学教授で終戦前後に母校でも教鞭を執ったこともある、比較文学を研究していた叔父が、創立七十周年記念誌に執筆しているため、ご存知の方も大勢居られると思いますが、あれから二十有余年経過しており、叔父の受け売りですが筆をとることにいたしました。

私は、戦争末期の昭和二十年四月に、旧制白河中学校に入学しました。入学試験は筆記試験は無く、国民学校の内申書と口頭試問だけで、最後に栗原茂校長先生の面接があり、将来の希望との問いに、「陸軍大将になる」とか「特攻隊に入る」と答えた友人もおりました。校舎は創立以来の木造平家建てで、校庭は半分ジャガ薯畠で、そこに面した南側の校舎と講堂は、床が打ち抜かれて飛行機工場になって特攻機が作られており、四年生が、そして、五年生は横須賀の海軍工廠に勤労動員されており、我々も毎日ゲートルを巻いて登校し、校門には上級生が歩哨として銃剣を持って立っていて、そこで歩調をとり敬礼をして校内に入りました。そして、しょっちゅう防空壕掘りや農家の手伝いに狩り出され、軍事教練の時間もあり、二学期には軍人勅諭の全文を暗記させられるそうで大変だ、と思いながら夏休みに入りました。そこで、終戦になったわけです。講堂が使えないので朝礼などは控室と呼ばれていた雨天体操場で開かれ、最後に、創立以来実施されていた天突き体操をやりました。在学中の昭和二十三年に学制改革があったため、高一回卒から高四回卒までは六年間同じ学舎に通ったため、母校には勿論、同期生にも特別な愛着を持っております。

控室の正面脇には校歌の歌詞が額入りで、終戦後講堂の床が張られてからは、正面左側に掲げられていたと思います。作詞の工藤先生はともかく、作曲の岡野貞一先生がどのような先生なのかと思っておりました。昭和三十年代になって、今まで文部省唱歌としか発表されていなかった唱歌の作詞者、作曲者が明らかにされ、岡野先生がすごい大先生だったのだと驚かされました。

工藤先生は熊本出身で、地元の旧制第五高等学校から東京帝国大学文学部国文学科に学ばれた先生で三十七才で浦和高等女学校（現浦和一女）から第二代校長として赴任され、「創立記念日に校歌がないのでは寂しい」と、作詞とりかかられたようです。旧制第五高等学校は、柔道の嘉納治五郎先生が三十二才で第三代校長として就任以来、「剛毅木訥」を校風としており、旧制高等学校寮歌の中で五本に指に入る「武夫原頭に草萌えて」（正式名「東京帝国大学学生寄贈の歌」）と云う有名な寮歌があり、工藤先生は恐らくこの寮歌を念頭において七五調六行一節の校歌を作詞されたのではないかと思われ、何箇所かに寮歌に拠ったと思われる詞句がみられます。

校歌第一節で

「清き歴史の跡とめて
　流風薫る小峰城」

寮歌で

「思いは馳せる朴訥の
　流風薫る銀杏城」

銀杏城は熊本城の別名

第二節で

「見よ県南の一聖地」

寮歌で

「それ西海の一聖地」

第四節で

「さらば我が友奮はずや」

寮歌で

「さらば我が友叫ばずや」

などである。

工藤先生は白河の風土とそこに学ぶ生徒たちの心意気や理想を歌い込みながら、遠く離れた故郷熊本をしのび、青春時代を送った五高生の情熱を込めて作詞されたものと推察されます。

この名作に曲を付けられた岡野貞一先生は、鳥取市出身で明治三十三年東京音楽学校（現東京芸術大学）を卒業、同校の教授を務められており、「荒城の月」「花」を作曲した滝廉太郎の二年後輩にあたるようです。明治四十二年文部省小学校唱歌教科書編纂委員を委嘱され、同じ編纂委員の高野辰之先生とコンビで「兎追いしかの山」「故郷」、「菜の花畑に入り日うすれ」の「朧月夜」、その他「春が来た」「春の小川」「紅葉」など、日本人が心に描く日本の原風景を歌い上げた名曲を作り上げました。又、岡野先生は十四才で洗礼を受けた敬虔なクリスチャンで、東京の本郷中央教会で四十年間日曜礼拝のオルガンを弾き続けたほどであり、「故郷」のゆったりした三拍子のリズムは賛美歌を受け継いだと考えられ、賛美歌が賛美するのは神ですが、賛美歌の影響を受けながら自然を賛美する唱歌という新しい歌を誕生させたわけです。

工藤先生は、前任地の浦和高女の音楽の先生を通じて岡野先生に作曲をお願いしたようで、このように日本民族が存在する限り歌い継がれるであろう名曲を作曲された先生の手になる白高校歌も名曲であり、誇りにしてよいのではないでしょうか。

最後に、私も野球部ＯＢ会である登竜クラブの一員ですが、甲子園球場のアルプススタンドで声高らかに「西秀麗の那須の峰」と歌いたいものです。

蛇足になりますが、創立七十周年記念式典の参列者に校歌のＣＤが記念品として配られました。叔父は岡野先生に関して問合せたため、そのＣＤを東京芸術大学音楽学部音楽研究センター資料室に送ったそうです。

又、創立百周年は、我々は丁度九十才になります。それまで、何とか元気で居て記念式典に参列したいものです。

---

# 後援会入会のおすすめ

後援会会長
櫻井和朋（高12）

第十三回後援会総会は、平成28年4月29日（金）大体育館で行なわれ、全議案原案通り可決あるいは承認されました。

さて、平成20年、母校に赴任された坂上正美校長（高20）の英断により、後援会発足（平成16年）以来懸案事項であった各教室へのエアコン設置事業が開始されました。

以後、毎年着々と進展し、平成26年に当初の計画は完成いたしました。

さらに翌27年に未設置教室について検討しました所、物理・化学・生物のそれぞれの講義室への要望があり、今年は、とりあえず物理・化学講義室へ設置する事となりました。

ところで、前回、この稿で述べました様に、最初のエアコンのリース期間の期限が来ており、ここ数年中に、新エアコン導入となる予定です。後援会としては、その資金も備蓄中ですので、後輩のため、何卒募金（入会）よろしくお願いいたします。

# 支部だより

## 東京登龍会 大同窓会を終えて

常任理事　澤野昌雄（高10）

平成28年6月18日、本郷・機山館で大同窓会を行いました。同窓会の最大の課題は白河高校の伝統を如何にして次の世代に引き継いで行くかです。

その課題を達成する為に、時勢に対応したホームページの開設、フェースブックへの参加等に取り組んできました。そこで内容の新鮮さを保ち、且つ新卒者を迎えるにあたり空白の年度をなくす必要性を感じ大同窓会を定時総会の合間に開催するに至ったものです。この趣旨に基づき学校長、担任教諭、新卒者に案内を出したところ太田孝校長、添田恒夫教諭、新卒者の安澤拓海、鈴木暁大、前島紗理菜各氏の出席を迎えることになりました。今回は出来る限り堅苦しさを排除することとし、比較的若手の中目隆夫、吉成河法吏、加藤直二、続唯美彦氏から新卒者に向けてのメッセージを発信することにしました。

多くの先輩方には相変わらず矍鑠とした姿を見せて頂き、更に、懇親会では力強い励ましの言葉を頂き元気づけられました。ご出席戴き有難うございました。

新卒者からも同窓会に貢献することで今後、恩返しをしてゆくとの力強い発言があり頼もしく思いました。

おおたとしまさ著「名門校とはなにか」によれば、名門校とは生徒が当然のように学校行事、部活に参加し、また当然のように勉強をする。それを教師や父兄、同窓生が当然のように応援し、卒業生は自分の能力を社会に向けてどのように生かし貢献してゆくか考える。このような学校のことである。この定義によれば白河高校は正しく名門校です。

毎度のことですが、同窓とは家付き酵母菌のようなもので同じ樽の中で醸造されたもの同志の快い香りと深い味わいを感じます。

今回は初めての試みであり新卒者の参加を迎えて若返り、継続について今後に期待が持てた点では大変良かったと思います。反省点については、改善し今後に生かしていきたいと思います。

事務局長　松岡久幸（高22）

「隔年開催では、変化の速い今の時代には遅れてしまう。」との懸念から総会の合間の年にも東京登龍会のメンバーが集合する機会を持とうとの声に応えようと、広報委員会一同がメインとなって企画しました。斬新な企画とは言えないまでも智慧を絞って大同窓会の開催に漕ぎつけました。

白河から4名のご来賓の方にも出席頂きました。新卒者から3名の出席があり、東京登龍会の会員と世代を超えた話に花が咲きました。今回は開会から閉会までを吉田修一幹事（高26）が司会を担当、会の進行を盛り上げ、中西恵美子幹事（高22）にはフラワーアレンジメントを用意頂き華やかな会場となりました。懇親会では年長の大越吉雄氏（中20）から若い人あてにメッセージを頂き、東京でご活躍の瀬谷俊雄氏（高7・㈱地域経済活性化支援機構社長）、佐藤孝彦氏（高22・養老乃瀧㈱常務取締役）にもご挨拶いただきました。

母校は平成34年には大正11年開校以来創立百周年を迎えます。母校が県南の雄として益々その輝きを放って行くことを祈念致します。

### 東京登龍会総会開催予告

期　日　平成29年5月27日（土）11時
場　所　上野精養軒
講演会　竹内和久氏（高26）
（東京登龍会HPにも予定を掲載します。）

## 西郷支部 総会・交流会開催

支部長　相馬　博（高17）

支部総会を九月一日午後七時より村内「中華飯店大幸苑」で開きました。

始めに校歌を出席者全員で斉唱（一番、四番）し、ご来賓の同窓会長安田好伸様、校長太田孝様からご祝辞をいただき事務局長金沢隆夫様（支部会員）にも、ご臨席を賜りました。又白高同窓生二四〇名に「なりすまし詐欺」の不審電話が相次いでいることから、白河警察署生活安全課係長戸辺様から防犯講話もありました。議事では二十七年度事業及び決算、監査報告、二十八年度事業計画及び予算説明、役員改選では現執行部の再任と、本校へのスポーツ、文化活動クラブへの寄付金が全項目承認されました。

総会終了の懇親会では、仁平捷夫さんの乾杯発声により始まり、西郷村長佐藤正博様にも祝辞を戴き、時間の過ぎるのも忘れ大変有意義に和気藹々と交流を深めました。

上がる蛮声　若きは偲び
校歌斉唱　血がさわぐ
和知　肇（高14）

# 同窓生近況だより

## 「桔梗の会」閉ず

六角冨美子（高6）

平成の教育改革（男女共学）を前に、六十余年前、古い木造の校舎で男子生徒に混じって学び巣立った女子生徒（白高五回～九回卒）五十余名はその存在さえ忘れ去られようとしていました。このままではと平成八年県内在住の女子同窓生が声かけ合い、当時の女生徒の会を開こうと立ち上がりました。

平成九年七月登龍会館に集まり会食、その後新しい校舎を案内していただき、丁度夏期課外授業で男子生徒と共に学ぶ女子生徒の姿に時代の流れを感じたものでした。そして新甲子温泉五峰荘へ移動、担任だった先生方も交え楽しい一夜を過ごしました。翌朝散歩に出られた川瀬正三郎先生が野辺の桔梗の花を見つけられこの集を「桔梗の会」と名前をつけて下さり、女子の同窓会が発足したのでした。

それから足かけ二十年、昨年（H27）十月八日・九日、奥甲子温泉大黒屋で十回目の桔梗の

会をもつことができました。参加者十八名、終戦時は全員小学生、それぞれが戦後の困難期を生き抜き、縁あって白高で学び、今八十路を迎え、また迎えようとしています。年を重ね輝く個性の前に同窓生とはこんなにも心の支えになるものかと、まだまだ続けて行きたい気持は多くありますが、十回目を区切りとして閉じることにしました。

最近は同窓会報に載る桔梗の会の報告を楽しみにして下さっている同窓会諸兄の声も伝わって来てうれしく思っています。同窓会・学校関係の方々の〝陰〟からの支えがあってこそと感謝しております。

最後に桔梗の会の会員から届けられました声を記載させて頂きました。

○とても幸せな時間をありがとうございました。皆様八十歳とは思えない位お元気で輝いておられるのに驚き、繰り返し余韻を楽しんでおります。　K様

○最後に大黒屋を選んで下さり、感謝します。弟達が登った甲子の山々は六十年前と変わらず、どっしりとしていました。閉じるのは残念ですが、またお逢いしたい。　W様

○学年を越えた皆様との心温まる交わりによって、人生最大の悲しみを和らげて頂いたことを、忘れられません。いつかまた、お会い出来ますように。　S様

○会を重ねる度に親しさが増し、感激が深まるばかりでした。心が通い合い同窓の幸せをしみじみ感じています。

百段を降りゆく秘湯
紅葉橋　T様

## 短歌

和知 光儀（高2）

疎開っ子と異端視せり十五の夏よ
夢見る友の温き掌※1
干大根星夜の明かり師の選に
疎開生級友の一句遥かなり※2
紅顔の学帽凛々しき友ら
はや色褪せにけり生き墓標のごと※3
先駆けて春がおくりし春蘭は
翁媼相抱きひそと咲きおり
故郷は香り満つらん里山の
わが生まれし日の山百合の花
如月の雨をふふみて梅が枝
固き蕾に光和らぐ
白樺の林の木々を朱に染む
初日の光おろがみいたり
わが魂が駆け巡る野に花の満つ
菜の花の花向日葵の花
阿武隈の瀬音は絶えて水枯れの
原発の野に繁る夏草
碧空を真一文字に截るシュプール
飛行機雲の東へ果つる
今なおも鼓動小止みなく八十路にて
一期一会の友ら心音
学舎は幾歳重ね百歳の
われらが母校翔けよ亢龍白高生

※1M君　※2師は佐藤先生文君　※3J94M1 入学・南湖神社前

## 俳句

星　立忠（高19）

春うらら 白亜紀からの 訪問者

## 登龍健児ここにあり

金子芳尚（高26）

今年の同窓会総会は私達の高26回卒が担当しました。還暦の年の唯一の機会に、地元の同期に声をかけ、何回も打ち合わせをしました。懇親を兼ねて毎回楽しい会となりました。

講師の選定では数多くの同期の名前が挙がりましたが、最終的に地域で活躍をしている教育と医療の分野からという事で、箭内清和君と竹内和久君の二名に決定しました。

当日の講演では卒後四十余年の間生きてきた様々な経験や考え方を両名から興味深く聴く事ができました。大変な時期もあったようですが、白河高校で鍛えられた事がベースとなって乗り越えてきたように感じました。登龍健児ここにあり！です。

同じように同期の誰もが両名と同じく、どのような立場にあっても白高同窓生として、文武両道・質実剛健等の登龍魂を持って生きて来たのだろうと思います。

高齢社会人生九十年に近い現在に於いて、還暦はまだまだ新たな人生を展開する年のようです。混沌先行き不透明の中で新たな秩序を求める時代にあって、我々白高同期は役割を与えられていると考えます。皆の健闘を願ってます。

今回の反省点としては、常日頃集まっているクラスは出席率が良く、久し振りの案内のクラスは出席者が少なかったようです。それでも年を重ねるにつれて母校への思いが強くなるようで、急な案内にもかかわらず遠方より参加して頂いた同期も何名もいました。日頃の連絡体制の確立が今後の課題と思いました。

更なる母校と同窓会の発展、同窓生の皆様方のご健勝とご活躍を願って報告させて頂きます。

## 叙勲等

平成二十七年秋の叙勲

旭日双光章
櫻井和朋（高12）

瑞宝単光章
鈴木清和（高20）
小島博（高19）

## 訃報

国安　忠久（中24）平成28・
田代　勗（高6）〃28・4・4
小檜山 美都男（高1）〃28・5・18
星　亨（高36）〃28・8・

（叙勲、訃報は学校内同窓会事務局にご連絡のあった方々をお載せしました。）

## 編集後記

本年6月に公職選挙法が改正施行され、職場で家庭で、そして学校で選挙の話をしよう…が、新聞、テレビ等でニュースになりました。市の広報誌によると白高3年生217人のアンケートの結果、約7割が選挙に行って投票すると答えたそうです。

・今年の同窓会報には、なぜ？と思われるチラシが同封されて行ったとおもいます。毎日のように報道されるオレオレ詐欺、なりすまし詐欺の被害があとを絶ちませんが白河警察署の話によりますと、福島県内の高校で白高同窓会の皆さんが、だんとつ一位で狙われているそうです。一件でも被害が少なくなる事を願って同封しました。

**会報編集委員会**

会報担当
同窓会副会長　中村　彰（高20）
編集委員長　堀川　哲雄（高15）
編集委員　瀬戸　安夫（高22）
〃　横村　勝己（高37）
事務担当（学校）高田　良一（高32）
〃（〃）相山　真希

# 広島総文に出場して

写真部顧問　藤井克憲

オバマ米大統領が広島で歴史的なスピーチをおこなったわずか二ヶ月後の七月、私たちはすぐ隣の広島国際会議場において、全国高等学校総合文化祭写真部門に参加しました。

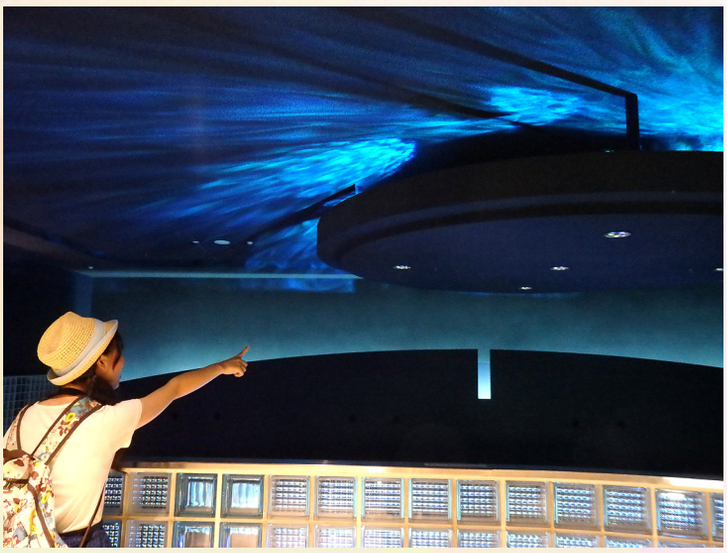
部としてようやく二年目を迎えた我が写真部が、このような貴重な体験をさせて頂き、感に堪えません。校長先生はじめ多くの先生方や保護者の皆様に支えられ活動出来ていることを忘れず、今後も「撮る人も撮られる人も観る人もみんなが『いいなあ』と感じる写真」を目指していきます。

大会初日は、審査委員長織作峰子氏の講演会と生徒交流会。炎天下の下、全国の写真部員と親睦を深めました。また、運の良いことに、秋篠宮さまと眞子さまのお姿を間近で拝見することもできました。

二日目は、撮影会。さらにパワーアップした真夏の太陽の下、広島港から貸切フェリーで宮島へ。厳島神社、もみじ饅頭、焼き牡蠣、あなご飯、商店街のおばちゃま、人見知りしない鹿、タクシーの運転手さん。素敵な出会いがたくさんあり、良き想い出になりました。

最終日は表彰式、講評会。残念ながら福島県からの入賞はありませんでした。福島県の代表八枠の半分、四名を推薦して頂いた本校写真部としては、今後の更なるレベルアップを心に誓いました。

祈り～感謝の炎～（志田智哉）



あっ！ UFO 発見 !?（佐藤美月）

しましまのシンクロ（喜屋武美咲）

Let's ダンス！（吉田汐里）